

「青森のグローバル化に向けての 課題設定とその解決策を考える —青森の「グローバル化」と「ローカル化」の 共存・共栄を目指して提言する—」

現代社会は、グローバル化時代を迎え、また、「中央集権化から地方分権化」への移行時代を迎えて、本州の最北端に位置する青い森「青森の未来」をいかにデザインし、いかにアクションプランを作成し、実行するかが、青森の喫緊の課題である。私たちは、この激しい変化の時代を「新しい青森を創造する良きチャンスの到来」と理解し、過去2回「青森の未来をデザインする」を統一テーマに、「提言的公開講座」を行ってきた。

本公開講座では、過去2回の公開講座を踏まえた最終回として、「新時代の青森の創造に向けての課題設定とその解決策を考える—青森のグローバル化とローカル化の共存・共栄を目指して—」を統一テーマとした。多数の皆様のご参加を期待している。

[第1回] 9/30火	青森の教育のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森のグローバル人材育成に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 内 海 隆
[第2回] 10/7火	青森の貿易のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の貿易のグローバル化に向けての提言— 講師：日本貿易振興機構・青森貿易情報センター所長 奥 貴 史
[第3回] 10/14火	青森の観光のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の観光のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤 永 弘
[第4回] 10/21火	青森の農業のグローバル化に向けての課題設定と解決策を考える —青森の農業のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 河 野 秀 孝
[第5回] 10/28火	青森の産業のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の産業のグローバル化に向けての提言— 講師：東京都市大学教授 井 上 隆一郎
[第6回] 11/18火	青森の自治体のグローバル化の課題設定とその解決策を考える —青森の自治体のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 遠 藤 哲 哉

いずれの回も

[時間] 18時30分～20時30分 [場所] アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ研修室

[対象] 一般社会人、学部大学生、大学院生、高校生 [定員] 各回50名(先着順)

申込方法 開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名・開催日と、住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先の電話番号を明記し、郵送、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

青森公立大学地域研究センター公開講座係

[郵送先]〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

[FAX送信先]017-764-1564

[E-mailアドレス]kouza@bb.nebuta.ac.jp

受講料
無 料



※おおもり県民
力レッジ単位認定講座、各2単位(計6回)

まちなか
キャンパス

01

9.30火
18:30~20:30

青森の教育のグローバル化に向けての
課題設定とその解決策を考える

—青森のグローバル人材育成に向けての提言—

講師：青森公立大学教授 内 海 隆

日本経済団体連合会は、2011年6月に「グローバル人材の育成に向けた提言」として産官学に求められる取り組みを発表した。また、政府の教育再生実行会議は、2013年5月に国際社会で活躍できるグローバル人材育成を重点とした「大学教育等の在り方について」を発表した。これらを参考にして、「青森県基本計画—未来を変える挑戦一」に掲げる「人材育成」を青森発グローバル教育（教育の自由化と多様化）の観点から提言をしたい。

02

10.7火
18:30~20:30

青森の貿易のグローバル化に向けての
課題設定とその解決策を考える

—青森の貿易のグローバル化に向けての提言—

講師：日本貿易振興機構・青森貿易情報センター所長 奥 貴 史

青森県は、全国でも有数の農林水産物生産を誇る「農業・林業・水産業立県」である。その青森県の有する強みを活かした農林水産物の「海外販路開拓」は、人口減少社会において重要な課題となっている。言語、環境、歴史、宗教、社会制度等などの異なる海外への農林水産物の販路開拓について、どのような魅力や解決すべき課題があるかを見据えつつ、実際の輸出取り込み事例を交えながら、青森の貿易のグローバル化について提言をしたい。

03

10.14火
18:30~20:30

青森の観光のグローバル化に向けての
課題設定とその解決策を考える

—青森の観光のグローバル化に向けての提言—

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤 永 弘

わが国は、グローバル化時代を迎えて、人的資源を活かした「加工貿易立国」としてさらなる発展を図ると共に、日本の素晴らしい「歴史、文化、美しい四季の自然、和食、おもてなしの心、独特なライフスタイル」など世界に誇る多くの観光資源を有していることから「観光立国」として世界に貢献する時代が到来している。本公開講座では、青森県の素晴らしい自然、農業、水産業、林業などを活かした「青い森・青森の観光立県」の創造を目指して提言をしたい。

04

10.21火
18:30~20:30

青森の農業のグローバル化に向けての
課題設定と解決策を考える

—青森の農業のグローバル化に向けての提言—

講師：青森公立大学教授 河 野 秀 孝

拡大する市場経済のグローバル化が、日本経済全体だけでなく、直接・間接に地域経済としての青森にも影響を与えている。より具体的には、将来の海外需要が着実に増える傾向にある。そこで、海外需要（高付加価値な財やサービスの輸出、特に、農水産物の輸出促進等）を取り込むことは、青森経済界にとって重要な経営戦略上選択肢と位置づけられる。本公開講座では、グローバルな視点から「喫緊の課題とは何か」、「叡智をどこに求めるか」を考えながら、特に青森県の農業が直面する問題に焦点を当てて適切な対応策を提言したい。

05

10.28火
18:30~20:30

青森の産業のグローバル化に向けての
課題設定とその解決策を考える

—青森の産業のグローバル化に向けての提言—

講師：東京都市大学教授 井 上 隆一郎

一般的に言って青森の産業に見られる傾向は、外に打って出る姿勢の欠如である。外とは海外のみを意味するものではない。首都圏などの大都市圏市場、全国市場への展開ですら十分ではない。これはどのような要因に規定されているのであろうか。その要因を克服して、さらに不確実性、リスクを伴う海外への展開となると課題が山積しているといわなければならない。グローバル化という今日の産業が直面する普遍的な課題に対して、青森の企業が直面している問題点と課題分析を踏まえてその解決策を提言したい。

06

11.18火
18:30~20:30

青森の自治体のグローバル化の
課題設定とその解決策を考える

—青森の自治体のグローバル化に向けての提言—

講師：青森公立大学教授 遠 藤 哲 哉

自然と食文化、ウインタースポーツを始めとする雪国の持つ魅力、そこで育まれてきた祭りと生活、地域社会の中で大切に育まれてきた豊かな価値を、グローバルな視点から再評価することが大切である。グローバル化とは、異文化の良さを認め合うチャンスである。青森の良さを引き出し、自治体における経営戦略をどう進化させていくことができるか、グローバルな視点から、自治体経営の課題に切り込み、創造的に改革していくための提言をしたい。